

WA!



No. 16



「メリシヤカ」

もうすぐ桜の花が咲き、お釈迦さまのお誕生日、「花まつり」がめぐってくる。

わが家の子ども達は、それはそれは楽しみに待っている。というのも「花まつりプレゼント」がもらえるから。

長男の言によれば、毎年12月に入ると友達の間でクリスマスプレゼントが話題になるようだ。今でこそ彼は胸を張って「僕は4月8日にプレゼントをもらうんだ」と言っているが、幼稚園の年長の時は、年少・年中・年長の3年間に作った紙の靴下3枚を枕元にきれいに並べて寝ていた。

「うちは仏様のおられる家だから、サンタクロースは来ないのよ」と話しても、まだ小さかったら納得できなかったのだろう。

そこで見かねた夫が一通の手紙を書いた。

「君のお家はお寺でしょう。サンタさんは遠慮して来ないですよ。——中略——しっかり先生やお父さんお母さんの言うことを聞いて元氣良く過ごしていたら、来年の4月8日の花まつりにプレゼントが届きますよ。安心して待っていてください。」

あみださまの使いの者より

長男は「お父さんが書いたのかなあ」と考えたようだが、「やっぱり、そうか」と諦めたのか何も言わなくなった。

お寺の土曜学校でも「花まつり」は盛大にお祝いするようになっている。

一般の方にも広く知っていたために、花御堂のお供に沿道に立ち、道行く方々に甘茶をそそいで合掌していただく。そして甘茶を味わってもらう。

最初の頃は「一体、何のさわぎ？」と不審そうだったが、説明すると「そうなんですかな？知らなかったあ」と言われる。これからも地道に続けて、広めてゆかなければと思う。

近頃では、キリスト教がメリシヤカなら仏教はメリシヤカと面白い。

お釈迦さまは、私たちに真実のみ教を伝えてくださった方です。4月8日の「花まつり」には、お釈迦さまのご誕生を、一人でも多くの方々と心からお祝いしたいものである。メリシヤカ!!

～それでは、パステルアートを 楽しみましょう・・・～

①下地を塗ります。

※下地の色は基本は白(001)ですが、今回は光を綺麗に表したかったので、白(001)・クリーム(041)・薄いピンク(028)・薄い紫(121)の4色を使いました。

②他の色を下地の上に塗ります。

※下地がきれいに隠れるように色を重ねて塗っていきます。色はグラデーションのようにしてもよし、何色も色を重ねてもよし、とにかく自由に色を塗ってください。

③もう一枚のハガキに型になる絵を描き、カッターで切り抜きます。今回は、花びらと円形の型を組み合わせて桜を作りました。(右一番下の写真参照)

※カッターで型を切り抜く際、子どもにカッターを使わせるのが心配だという方は、先に指導者が型を準備しておけば良いと思います。

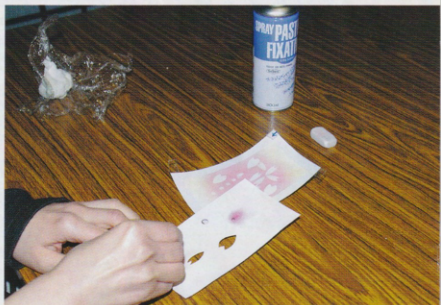
④色を塗っているハガキの表面に③で作った型紙をのせて、型の部分だけをねり消しで消します。

※色を消した型の部分に違う色を塗ってもかまいません。

⑤絵を描き終わったら、フィキサーをふきつけます。

※フィキサーをふきつけることで、パステルの色が固着します。

⑥初めに貼っておいたセロテープを剥がし、剥がした所(白地の部分)に日付けとサインをして出来上がり。



『子ども向け パステルアート体験』

2月8日
広島別院



パステルアートインストラクター

とまりの ひとみ
泊野 仁美 先生

平成25年2月8日(金)、広島別院に於いて安芸教区少年連盟指導者学習会を開催しました。

講師にパステルアートインストラクターの泊野仁美先生(佐伯沖組 専念寺 門徒)をお迎えして、約30名の参加者と一緒にパステルアートを体験しました。

パステルアートとは、スティック状のパステルを削って粉状にして、それをコットンや綿棒等に付けて絵を描くアートです。

パステルアートは淡く優しい色なので、心が癒されるという方が多く、パステルアートの体験者には、「絵を描き終わった後に、心がスッキリした」という方も多そうです。

実際に私もパステルアートを体験してみて、色合いが本当に柔らかかったので・・・なんか・・・とてもイイかんじ〜となりました♪ なよりも、絵が大の苦手な私でも、それなりに作品の形となったのには驚きました。

参加者皆さんの作品が、個性的な良い味をかもしだしており、それぞれ素敵な作品となりました。

ぜひ、パステルアートを各寺院の日曜学校・子ども会などで体験してみてください。楽しく、なごやかな時間が過ごせます。

安芸教区少年連盟で道具の貸し出しをしております。お問い合わせは教務所まで



パステルアート

～用意するもの～

- ・パステル(48色) ・コットン ・ハガキ(2枚)
- ・ねり消し ・鉛筆 ・セロテープ ・フィクサー
- ・茶こし ・A4用紙 ・カッター
- ・カッター板(新聞紙など)

～パステルアートを始めるまえに・・・～

- ・ハガキの周りにセロテープ(幅12mm)を貼って枠を作ります。
- ・パステルを削る時はなるべく数字が記載されていない側から削ります。
- ・パステルを削る時は茶こしを使います。A4用紙(パレット代わりに使用)の上に茶こしを置いてパステルを削ります。
色が混ざらないように1色削ったら、茶こしをすらしてまた違う色を削ってください。
- ・削ったパステルの粉をコットンに付けてハガキに色を塗っていきます。
コットンは4つ折りにして使います。コットンが汚れたら、汚れた面を内側にして折り返します。また汚れたら、一度ひろげて汚れた面を内側にしてまた4つ折りにします。
- ・ひとつのコットンで4回使えます。
- ・パステルを塗る時は、円を描くように塗ります。たいて塗ると粉がまったり、パステルがきれいにハガキに付かなかったりするので気をつけてください。

宇山そば処 さわやか茶屋 —いざ、そば打ちに挑戦—



さわやか茶屋は、廃校になった旧宇山小学校を利用して、地元の女性を中心となって運営する、手打ちそば処です

元々は小学校の校舎なので、玄関から入って上履きに履き替えると、学校のパイプ机や椅子などがあり、さながら小学校での給食時間の風景みたいな名残があります。

寒暖の差が激しい宇山地域は、昔から蕎麦が盛んに作られていた土地です。田舎そばと呼ばれ、麺が太めで、とてもコシがあるのが特徴です。

その「手打ちそば体験」に挑戦しました。



お店を運営する「さわやかグループ」のスタッフが指導してくださるので安心です。



水回しから、括りの作業が大切で、焦らずに粒の大きさが均等になるようにします。



切る 包丁が切りに落ちたら、包丁をわずかに左に倒して小間板をずらす。



こねて、そば玉の中の空気を抜くために手のひらで練りこむ。



出来あがり！麺の太さが、まちまちなのがご愛嬌



ゆがいて、美味しくいただきます。



手延ばしの後、めん棒を使い丸延ばし。生地は正円になるように！

宇山そば処 さわやか茶屋

所在地：〒739-2302

広島県東広島市河内町宇山1481

お問い合わせ先：TEL・FAX 082-438-1540

営業時間：11:00～15:00 木曜日定休

駐車場：30台

交通案内：山陽自動車道河内ICから国道432号線、県道33号線、県道342号線と經由し、約20分

